

地域公共交通サービスを有する地方都市における 高齢の運転免許自主返納者の生活実態及び生活実感に関する研究 ：免許返納者の暮らしを満たすまちの姿とは

コミュニティデザイン学科 阪田 和哉, 真岡市 総務部総合政策課

1. 研究の背景・目的

- 近年、高齢ドライバーに対して運転免許自主返納を呼びかける地域が増えている。
- 真岡市では、コミュニティバス(旧コットベリー号、H31.3月～いちごバス)とデマンドタイプの乗り合いタクシー(いちごタクシー)を運行し、市内の交通弱者の移動手段の確保に努めてきた。
- 真岡市内の運転免許自主返納者の免許返納後の移動の実態や生活の状況を調査・分析し、運転免許自主返納促進のために必要な移動や生活支援に関するサービスのあり方を検討することを目的とする。

3. 調査概要

- 2019年10月に実施
- 郵送配布、郵送回収
- 配布票数は656票、回収票数は355票。回収率54%

4. 単純集計結果の概要

- 性別は男女ほぼ半々。年齢は80歳以上が61%。
- 移動手段は、「家族等が運転する車」56%、「徒歩」41%、「タクシー」39%、「自転車」27%の順。
- ＜免許返納者がもらえる共通無料乗車券＞
- 返納前に知っていたのは33%。返納後に知った人が20%いた。
- 持っていて利用している人は49%。持っていて利用していない人は33%。申請予定が5%。

＜地域公共交通の認知度＞

- いちごタクシーについて具体的に知らない人が41%、予約方法や料金を知っているのが39%。57%が利用経験なし。利用者の利用目的は8割以上が通院。
- いちごバスの方がいちごタクシーよりは認知度が高い傾向。
- 60%が利用経験なし。利用者の利用目的は、通院54%、買い物33%。

＜免許返納の経緯＞

- 返納直前の運転の問題やストレスに多いのは、ヒヤリとした経験(28%) 見えにくいことがあった(16%) 交通量が多い道の運転がストレス(16%)。
- 返納時の年齢は80代前半がピーク。
- 返納理由で多いものは、身体的な衰えの自覚(37%) 一定の年齢に達した(31%) 事故のニュースを目にした(26%)。

＜返納前後の生活への影響の比較＞

- 返納による生活への影響で返納前に心配していたこと、返納後の現状を聞いたところ、買い物や通院の心配を挙げる回答が5割程度と多い。
- 回答率を比較すると、ほとんどの項目で返納後の現状の方が率が少し小さくなっている(例えば、「通院できなくなる(55%→49%)」)。
- 「自分の気力が衰える(25%→27%)」と「特に心配なことはない(12%→17%)」の2項目のみ、現状の方が率が上がっていた。
- 返納後、外出頻度が減ったとの回答が66%であった。
- 健康上の不安が返納後大きくなった人は23%。

＜返納前後の生活の幸福感的比較＞

- 返納前数年間と、返納後の現在のそれぞれについて、普段の暮らしの主観的幸福感を10点満点で自己採点していただいた。
- 返納前後の両方に点数を付けた回答者(有効回答者)に着目すると、平均点は、返納前7.6点、返納後5.6点と大幅に下がっている。この結果は、統計学的にも有意な差として確認された(ウィルコクソンの符号順位検定により、1%有意水準にて平均点の低下が認められた)。

＜返納前後の生活の満足感的比較＞

- 普段の暮らしの満足感を5段階評価で聞いた結果、返納前は大いに満足、満足、あわせて66%、不満と大いに不満はあわせて6%だったが、返納後はそれぞれ29%、32%と悪化している。満足度が返納前後で低下したという結果は、統計学的にも有意な差として確認された(ウィルコクソンの符号順位検定により、1%有意水準にて平均点の低下が認められた)。

2. 研究方法

- 真岡市高齢者運転免許証自主返納促進事業の申請者に郵送アンケート調査を実施。
- 免許返納前後での外出機会や外出目的、外出先の変化、返納後の移動手段、返納前の運転時のストレス、返納前の公共交通利用経験、市内公共交通サービスに対する知識、通信販売や移動販売の利用状況、免許返納の理由、返納前の見通しと返納後の実態、娯楽や趣味、幸福感、健康感、生活満足度などを調査。
- 免許返納が生活にどんな変化をもたらしたか、暮らしの幸福感・満足感はどうなのか、高齢ドライバーに免許自主返納を促すのであれば、まちづくりや公共交通サービスはどうあるべきかを考察。

返納前と返納後での幸福感受得点の対応関係

返納前の幸福感受得点	返納後の幸福感受得点	返納後の幸福感受得点(表中数字は該当人数)									
		10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点
10点		19	4	15	2	3	11	4	9	6	8
9点		0	8	4	2	2	3	0	3	3	1
8点		0	2	16	9	6	8	4	6	2	1
7点		0	1	0	8	6	6	1	0	1	0
6点		1	0	2	1	9	4	1	2	1	0
5点		0	1	1	1	1	18	1	7	1	3
4点		0	0	0	1	1	0	2	0	0	0
3点		1	0	0	0	2	1	0	5	1	0
2点		0	0	0	0	1	0	0	0	4	0
1点		0	0	0	0	1	0	0	1	0	4

5. 免許返納前後での幸福感の変動に着目した分析結果

- 免許返納の前後で、幸福感の点数が低下した【**幸福感低下群**】と、同点もしくは上昇した【**幸福感維持向上群**】に分け、傾向を確認した。
- 【幸福感低下群の特徴】
- 外出頻度が減っている、健康上の不安が大きくなっている。
- 免許返納によってできなくなること、衰えることに対して、返納前から心配が大きく、返納後も問題としてとらえている傾向がある。
- 返納直前の運転での問題やストレスが多く、それが返納理由になっていることが多い。
- 【幸福感維持向上群の特徴】
- 健康上の不安があまり大きくない(ないという人も多い)。
- 免許返納によってできなくなること、衰えることに対して、返納前の心配より、返納後に問題となったケースが少ない。
- 一定の年齢となったことを目安に返納した人が多い。

幸福感低下群と維持向上群の「外出頻度変化」、「健康上の不安変化」の差異

